

広島県中小企業団体中央会 2020年4月分情報連絡一覧表

※本調査は5月の見通しについても調査をしている関係上、新型コロナウイルスの世界的感染拡大に対する5月以降のコメントも掲載しています。

(食料品)

●食料品

中国醤油醸造協同組合

4月の出荷量は前月比13.9%増加、前年同月比9.6%減少となり、売上高は前月比11.7%増加、前年同月比11.3%減少となった。

広島県東部菓子商工業協同組合

新型コロナウイルスの影響で、売上が上がったところ、下がったところがあり、各事業者によって明暗が分かれる状態が続いている。

(繊維・同製品)

●繊維工業

広島県織物構造改善工業組合

引き続き新型コロナウイルスの影響で、お互い面談を自粛し、訪問営業が出来ず、営業活動が低下している。輸出もストップしている。今後益々売上減少、収益減少、資金繰り悪化が懸念される。

●衣服・その他の繊維製品

広島県アパレル工業組合

新型コロナウイルスの影響により、出張が出来ず、また店舗の閉鎖による大幅な売上減少が予想される。今後さらに状況が厳しくなることが予想される。

(木材・木製品)

●木材・木製品

福山木材協同組合

3月の住宅着工戸数は対前年比変化なしで推移したため、今月の仕事量は前年程度維持出来ているが、来月からは大きく落ち込みが予想される。

広島県木材協同組合連合会

<全国>

- ・令和3年3月の全国の住宅着工戸数は70,729戸で前年同月比7.6%減少
- ・季節調整済年率換算値では905千戸(前月比3.9%増加)
- ・利用関係別では、持家は22,327戸で前年同月比0.3%減少、貸家は26,545戸で前年同月比6.6%減少
- ・分譲住宅は21,220戸で前年同月比16.1%減少
- ・木造住宅着工は40,139戸で前年同月比3.1%減少
- ・住宅着工動向は9ヶ月連続で減少

<広島>

- ・広島県内の3月の着工戸数は1,529戸で前年比12.7%増加、このうち持家は474戸で同18.5%増加、貸家は57戸で同5.9%増加、分譲は498戸で同15.5%増加
- ・県全体の住宅着工動向は前年同月比5ヵ月振りの増加となった
- ・地域別では広島市が着工戸数696戸で前年同月比16.2%増加、福山市が263戸で同1.2%増加、廿日市市は114戸で同100%増加、呉市は80戸で同122.2%増加の一方、東広島市は125戸で同19.4%減少となった。
- ・プレカット工場は比較的高水準の稼働を続けるところが多いが、新型コロナウイルスの影響で、得意先の業態や営業姿勢によって閑散のばらつきが大きく、出口の見えない不透明感や、住宅展示場への来場者の急減による先行き仕事量確保への警戒感、輸出関連の物流梱包の需要停滞の影響など、様々な不安要素を訴える声や、今後の経済活動の停滞で資金繰りを不安視する声など、今後の動向をしっかり注視していく必要がある。

広島県北部国産材加工協同組合

新型コロナウイルスによる悪影響が全産業へ波及し、経済活動が停滞し、底が見えない状況となってきた。緊急事態宣言も延長の見通しで、相変わらずの状態が相当程度続くものと思われる。

各種助成金、融資制度が出てきているが、複雑さと時間がかかることへの不満が広がっている。

(印刷)

●出版・印刷・同関連

広島県印刷工業組合

業務の受注がストップしていくことに危機感を覚えている。過去に経験したことのない想像以上の状況に、今できることや将来進むべき方向を再構築していきたい。

(化学・ゴム)

●工業用ゴム製品

中国ゴム工業協同組合

世界的に流行している新型コロナウイルスによる影響はインバウンド及びサプライチェーン等広範囲に及ぶ。未だに終息の時期も見通せず、今後多くの倒産が発生する可能性が高い。早く感染拡大が終息し、自粛ムードが収まり、個人消費が回復することを願う。かつて経験したことの無い大不況に見舞われることが予想される。医療用ゴム製品などの一部業種を除き、かつてない厳しい状況が続く見込みである。得意先などの生産調整を受け、臨時休業の実施、不急の投資凍結などを通じて従業員の雇用を死守しなければならない。

●プラスチック製品製造業

広島県プラスチック工業会

新型コロナウイルスの影響で、業界全体で売上、設備操業度ともに大幅に減少している。各社資金繰りへの影響が懸念される。収束時期が見えないことが問題である。

(窯業・土石製品)

●窯業・土石製品

広島地区生コンクリート協同組合

出荷状況

2年 4月3,004m³ (前年比5.92%減少)

2年 3月3,018m³

31年 4月3,193m³

(鉄鋼・金属製品)

●鉄鋼業

広島県鋳物工業協同組合

組合員が1社5月末で廃業する。従業員が16人と小規模で、後継者不在の問題もあり、余力のあるうちに廃業の決断をされたようである。

靱鉄鋼協同組合連合会

団地内の電気使用量が前年比、前年同月比1割以上減少している。

持続化給付金や雇用調整助成金の申請に関する問い合わせが増加している。5月以降、新型コロナウイルスの影響がどのように出てくるのか気にしている事業者が多い。

(一般機器)

●一般機械器具

出島工業会協同組合

組合員各社は、今後さらに新型コロナウイルスの影響が大きくなることが懸念される。

組合の課題は引き続き、役員の高齢化と世代交代である。

広島県東部機械金属工業協同組合

今月の売上は、年度末要因により前月比31.6%減少、前年同月比は4.8%増加となった。

新型コロナウイルスの影響により、営業や出張に影響が出ている。テレワークの拡大、商談、会議等のリモート化を推進している。

(電気機器)

●電気機械器具

広島県東部機械金属工業協同組合(電気機械器具)

今月の売上は、新型コロナウイルスの影響により受注量が減少しており、前月比変化なし、前年同月比5.0%減少となった。

海外部品の入荷状況を調査中である。状況によっては操業停止をせざるを得ない可能性もある。

新型コロナウイルスの影響で先行きが不透明である。事業者の不安払拭のためにも、スピード感ある施策の実施を求める。

(輸送用機器)

●輸送用機械器具(自動車)

東友会協同組合

組合員の業況は、ビジネス依存度の高い主要顧客(マツダ)の業況(生産台数)に比例している。

・4月の国内自動車販売台数は全需が270千台、前年同月比28.6%減少と7ヶ月連続の前年割れ。登録車は前年同月比25.5%減少と7ヶ月連続の前年割れ、軽自動車は前年同月比で33.5%減少と7ヶ月連続の前年割れ
マツダ車は同26.0%減少と2ヶ月振りの前年割れ

・マツダの3月の海外販売動向については、新型コロナウイルスの影響により、台数情報が入手できていない。ただし、海外各地域の販売店の多くが閉店、販売台数は前年比で大幅に減少、悪化している。

・マツダの3月の輸出動向については、輸出台数は前年比30.2%減少と6ヶ月連続の前年割れ

・マツダの3月の国内生産台数は、前年同月比17.6%減少と6ヶ月連続の前年割れ

●輸送用機械器具（造船）

中国地区造船協議会

県内2,500総トン以上の令和2年3月の船舶建造許可実績は6隻239,900総トンであった。（前月5隻285,950総トン、前年同月8隻420,100総トン）

なお、内訳は国内船が1隻で全てが貨物船、輸出船は5隻、うち貨物船が3隻、油槽船が2隻であった。

因島鉄工業団地協同組合

新型コロナウイルスの感染拡大により営業活動が停止し、夏場より工事が3割程度減少する可能性があり、対応に苦慮している。

（一社）中国小型船舶工業会

中小造船業については、前月と大きな変化はない。

（卸売業）

●卸売業（総合）

協同組合福山卸センター

新型コロナウイルスの影響により、売上、景況感は悪化している。

●卸売業（総合）

協同組合広島総合卸センター

全体としては、消費税率引き上げの悪影響が想定より長くなってきていた中で新型コロナウイルスの影響が重なり、特に体力のない組合員は資金繰り等が悪化している。

「雑貨」においては、日用品の特需により好況。イベント中止や観光需要が減少し、物の動きが鈍り紙製品の販売が減少している。見通しとしては厳しい状況である。

「資材」においては、受注残があったことから今のところ目立った影響が出ていない事業者もいる。一方で、中国からの資材・部品等が入ってこない、販売先の設備投資が見合わせになるなどの動きもあり、見通しは厳しい。

「食品」においては、スーパー等向けの日配品・生鮮品はやや好況。外食やお土産向けは激減。販売先により濃淡がある。

「繊維」においては、販売先の休業や展示会・商談会の中止等で売上は減少。夏以降の商談も中止になっており、見通しは厳しい。

消費税率引き上げ、新型コロナウイルスの影響が重なり、先行き予測が不可能な状況である。3月同様の状況が続けば5月頃からは資金繰りの見通しが立たない事業者もいる。

●卸売業（食料）

広島県東部食糧協同組合

新型コロナウイルスの影響により、米穀はやや減少、原材料もやや減少している。燃料は特に影響はない。

●卸売業（生鮮）

広島水産物仲卸協同組合

新型コロナウイルスによる小売店の仕入減少により、各社大幅な売上減少となっている。

●卸売業（電設資材）

広島県電設資材卸業協同組合

2月の住宅着工動向より、電設資材仕上げの先々予測は、持家は8月頃の仕上が減少、貸家は11月頃の仕上が減少、分譲は翌2月頃の仕上が大幅に減少することが予想される。

新型コロナウイルスの影響で工事計画予定が延期又は中止となり始めている。今後、官民工事ともに発注遅延や中止がでてくると思われる。

●卸売業（家具）

リビズ株式会社

4月の第2週から新型コロナウイルスの影響により売上減少が続いている。

●卸売業（畳・敷物）

広島県畳製品商業協同組合

びんご畳表の相場は横ばいで推移しているが、販売・取扱量は新型コロナウイルス拡大防止の観点から訪問営業を自粛しているため、受注は激減している。

一方、九州（熊本、福岡）での相場は弱含みだが、畳表の生産はフル稼働中である。しかし、新型コロナウイルスの影響で販売は低調となっており、先行きが見通せない状況である。

他方、中国産畳表はい草の先刈も終わり一息ついたところであるが、畳表の需要動向を見ながら輸出に向けた動向を探っている状況である。

（小売業）

●各種商品小売業

広島生鮮三品連絡協議会

青果、鮮魚とも入荷が減少し、一部商材は相場が急上昇し、品目毎にばらつきがある。

青果は給食需要が止まり、行き場のない商材の在庫が過剰気味である。

小売業界は、巣ごもり需要で全般的に売上は伸びているが、ポイント還元が終了する6月以降の見通しが不安である。

4月に入り、飲食・宿泊業では客数の減少により自主的に休業する店舗も少なくなく、納品主体の組合員は売上が20～30%減少し、壊滅的な影響下にある。

中央市場水産部の取扱高は前年比30%減少、反面青果部は前年比4%増加した。前年比、前月比とも上昇した相場高の影響を受けている。

●各種商品小売業

協同組合三次ショッピングセンター

商圏内で1人目の新型コロナウイルス感染者が確認された後、すぐに客数が減少した。その後クラスターが発生したことでさらに業績は落ち込んだ。

薬局、手芸品以外の業種は軒並み売上激減、食品スーパーも客が郊外へ流れたことにより落ち込んだ。

休業要請の対象となった業種や、営業しても採算が合わない業種は休業しているため、今後も厳しい状況は続く。

●家庭用電気機械器具小売

広島県電器商業組合

今月の販売実績は前年同月比18.9%減少となった。商品別では、薄型テレビ前年同月比14.3%減少、冷蔵庫同20.6%減少、洗濯機同20.3%減少、IHクッキングヒーター同14.3%減少、電気温水器同10.2%減少、エアコン同12.1%減少となった。

新型コロナウイルスの影響によりメーカー各社は工場も含めて操業を自粛しており、商品の入荷が滞っている。海外からの部品調達もままならない。

販売促進の合同展示会、個展も全て中止となり、連休明けも販売実績は低迷が予想される。

●その他の小売業（燃料）

広島県石油商業組合

売上数量が4割減少している模様。平均値のため、より減少の大きい事業者もいると考えられる。原油価格の急落に伴い、販売価格も低下しているため売上金額も激減している。平時の7～8割減少しているとの声も聞いている。持続化給付金の対象となるか否かは不明である。

ゴールデンウィークの落ち込みや取引先からの苦境から、今後は更なる減少が懸念される。

（商店街）

●商店街（各種商品小売業）

広島金座街商店街振興組合

新型コロナウイルスの影響により営業を自粛している店舗も多く、売上は減少している。

呉本通商店街振興組合

新型コロナウイルスの感染患者が呉市にも発生し、飲食業、イベント業を中心に売上高が激減している。さらに、政府の緊急事態措置による休業要請を受けて、4月21日から5月6日まで休業協力を行う店が近隣商店街においても増加している。日中の来街者も減少気味で、特に夜間の通行人は激減している状況である。そのため、感染拡大防止協力支援金や緊急支援融資などの相談が急増している。ただし、今回の新型コロナウイルスを原因とした廃業や倒産は今のところ出ていない。

（サービス業）

●自動車整備業

広島市自動車整備団地協同組合

車検台数は、前月比10.9%減少、前年比1.7%増加

車検場収入は、前月比9.5%減少、前年比4.8%増加

重量税・登録印紙の売上は、前月比20.3%減少、前年比12.8%増加

●広告業

広島県広告美術協同組合連合会

新型コロナウイルスの影響で前月に続き売上は減少した。多くの休業要請に伴い、組合員にも大きな影響が出ている。

屋外広告業界も広告宣伝の自粛など、売上は前月比減少となる見込みである。

●警備業

広島県警備業協同組合

新型コロナウイルスの影響により仕事量が減少している。

●情報サービス

(一社) 広島県情報産業協会

引き続き新型コロナウイルスの影響が広がってきている。

(建設業)

●工事業

神辺建設業協同組合

先行き不安感が漂っている。

福山地区電気工事業協同組合

今月の工事受付件数は、前月比6.7%減少、前年比11.4%減少となった。4月分受付件数は、過去3年と比較しても減少となった。新型コロナウイルスの影響による自粛により、電気工事の受注減が不安材料である。

広島市指定上下水道工事業協同組合

新型コロナウイルスの影響による、先行き不安感が漂っている。

広島県室内装飾事業協同組合

カーテン、敷物、壁装クロス等の3品目合計について、4月度は前月比44.5%減少となったが、前年同月比32.7%増加となった。例年最繁忙期の3月に比べて4月は落ち込むが、昨年4月はかなり低調に推移したため、前年比は大幅な増加となった。

新型コロナウイルスの影響で広島県においても建設現場の工事中止が公共・大型工事で散見され、今後の緊急事態宣言の解除延期も見据えて先行きは見通せず、外出自粛による消費の減少もあり、特に店舗物件については新規も改修も中止や無期限延期となっている。

(運輸業)

●道路貨物運送業

広島輸送ターミナル協同組合

新型コロナウイルスの全国的な感染拡大により非常事態宣言が発出され、広島県も22日から休業要請、外出自粛要請が行われ、飲食宿泊関連の休業、イベントの中止、建設工事の中止等様々な業界で物流が止まった。

マツダの生産調整、休業要請に伴い、マツダ関連の輸送が大きく減少した。

松永地区トラック事業協同組合

今月の売上は、前月比、前年比とも減少となり、収益状況も悪化となった。

新型コロナウイルスの影響により、荷主が商品を製造しても売れなくなり必然的に輸送貨物が減少し荷主は在庫数量ばかり増加しているのが現状である。

ドライバーの賃金は固定給部分と歩合部分があり、貨物量が減少すると運行回数、輸送距離等が減少し、結果、賃金が減少することとなる。大半の運送業者はドライバー不足の中で退職者は出たくないため、やり繰りしている状況である。賃金が下がると他業種へ転職されてしまうのではないかと不安を抱えることになる。早く終息することを願うばかりである。

中国カーゴ軽運送協同組合

多種多様な荷物を扱っているため売上高50%減少までは至っていないが、前月比、前年同月比とも20%~30%減少している。

●水運業

全国内航タンカー海運組合中国支部

船員の高齢化が進んでいると同時に若年船員が育っていないため、船員不足である。

運賃、用船料の改善が見られない。

(その他)

●不動産業

広島県不動産評価システム協同組合

前月比は毎年の地価公示評価作業、相続税評価作業の入金もあり、売上高、収益状況、資金繰りは好転している。来月は固定資産標準宅地評価作業と路線価作業の報酬の入金がある。

今月から広島県の地価調査基準地の評価作業が始まり、7月からは固定資産税標準宅地評価の時点修正作業も始まるが、公共鑑定、一般鑑定ともに今のところ新型コロナウイルスの影響は不透明である。

不動産賃貸業者は新型コロナウイルスの影響により飲食店ビル等の店子の家賃の減額要求（例えば家賃の2、3割を当面2ヶ月減額など）により家賃収入が減少している。